

ワカサギ（霞ヶ浦）

生態的特徴等：

【生態】

- ・東京都・島根県以北の本州・北海道の河川下流域に分布、また全国各地の湖沼・ダム湖にも移植され分布している。茨城県では霞ヶ浦・北浦、涸沼などに分布している。
- ・1年で生涯を終える年魚で、霞ヶ浦・北浦での産卵期は1月中旬～3月中旬で盛期は2月。産卵場所は水深1m前後の湖岸に近い浅場や流入河川の砂底・砂礫底である。3～4月に仔魚が出現し、7月には体長約5.5cm、9月に7cm、12月には10cm程度に成長する。
- ・「茨城県の旬のさかな（淡水のさかな）」に選ばれている。

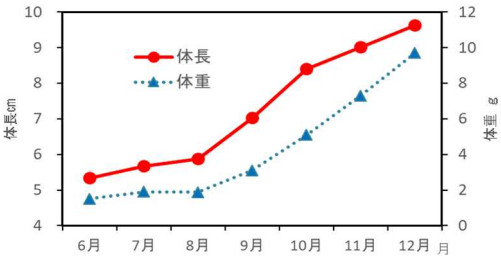


図1 ワカサギの成長

【漁法と漁期】

- ・主にわかさぎ・しらうおひき網漁業（トロール漁）、ます網漁業（張網）で漁獲される。主な漁期は7月21日～12月である。

【資源管理の取組】

- ・いさざ・ごろひき網漁業（横ひき網漁）において、春先のワカサギ稚魚の混獲防止のため自主休漁や操業時間の短縮が行われているほか、トロール漁においては、漁期前調査による資源状況の把握や、その後の資源動向に応じた操業時間の変更などの取組が行われている。また、資源増殖のため冬季に、人工ふ化放流事業が行われている。

【利用】

- ・夏のワカサギは全国で唯一、霞ヶ浦北浦で漁獲されるものは「ナツワカ」とよばれ、煮干し、天ぷら・唐揚げとして好評である。また、成長したものは、佃煮、甘露煮、焼きもの・フライ等としても食される。

資源診断：

資源水準は低位、動向は減少傾向 (漁獲量) H9年までは150トン以上の漁獲があったが、H10年以降減少し、H12年には19トンまで低下した。H19年以降増加傾向となりH22年には499トンとなったが、その後減少傾向となり、R4年は4トンとなった(図2)。 (水準と動向) R5年の資源水準は過去30年間の漁獲量から「低位」、R6年までの直近5年間の動向は、操業日誌等を基に計算したCPUE(kg/隻・時間)の傾向から「減少」とした(図3)。	水 準
	低位
	動 向

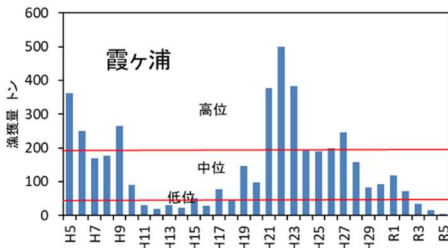


図2 ワカサギの漁獲量（農林水産統計、属人）

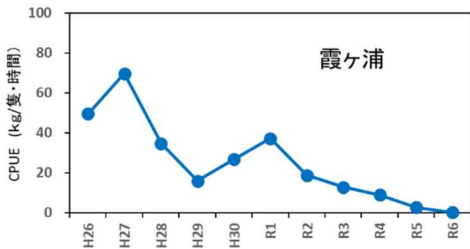


図3 ワカサギのCPUE（トロール1隻1時間当たりの漁獲量kg）

【全国の漁獲順位】 R5年：1位：青森、2位：秋田、3位：北海道、4位：滋賀、5位：大分、茨城 6位

（使用データ） 資源水準：令和5年までの農林統計値 資源動向：令和6年12月までの操業日誌

更新日：令和7年4月23日

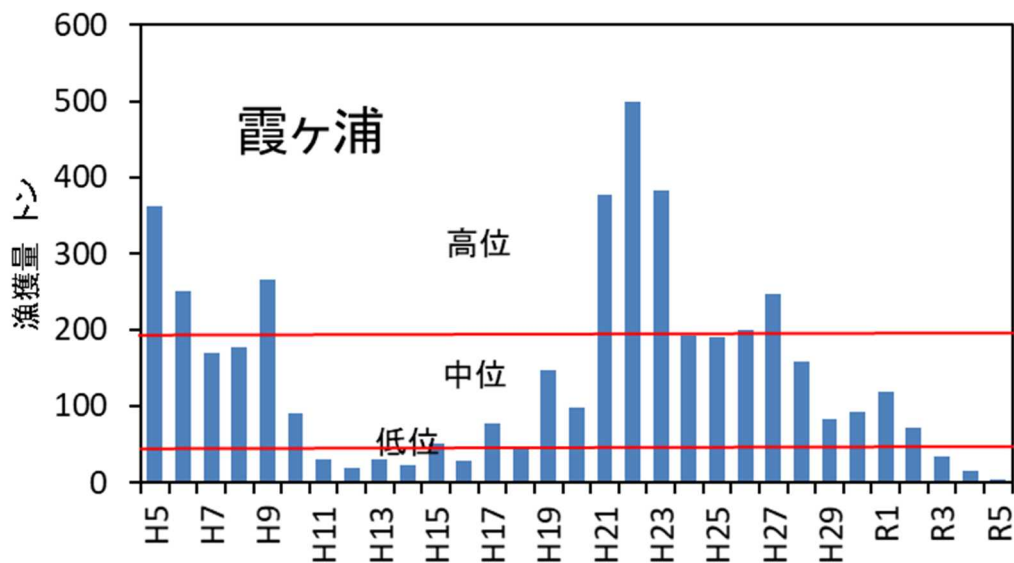


図 4 ワカサギの漁獲量（農林水産統計、属人）

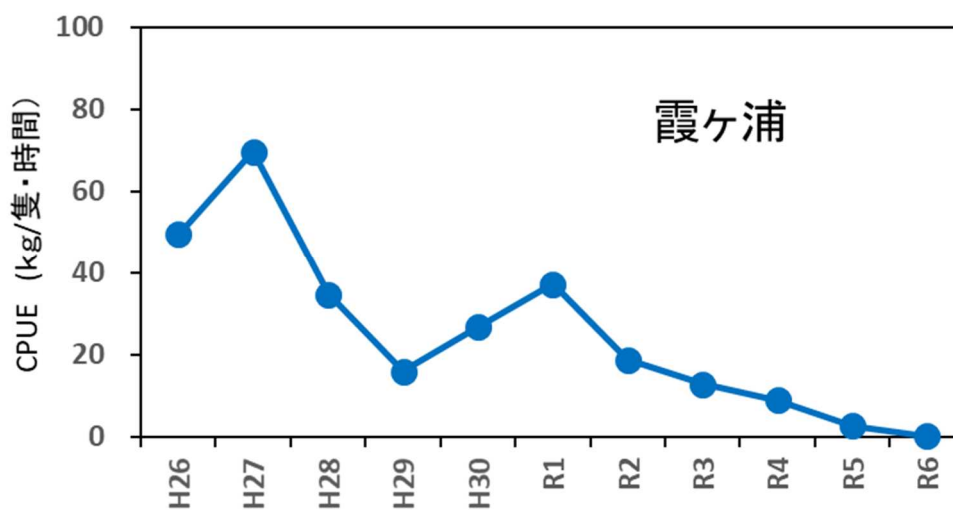


図 5 ワカサギの CPUE（トロール 1 隻 1 時間当たりの漁獲量 kg）